

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/3/24 実施)～

参加者: 6名



ジャヤナギの芽を観察

桜の開花が始まり、一気に春めいてきた。雲は多いが青空ものぞき、風もさほど冷たくない。

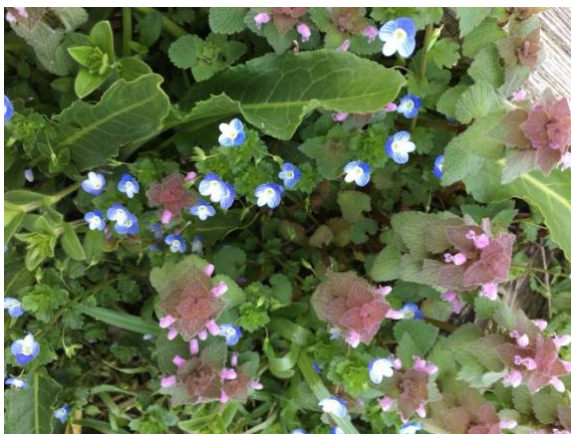
ホオジロの声が聞こえる、どこにいるのかと探していたら川向こうの木にとまって、さかんに鳴いていた。まださえずりではないが、そろそろ一筆啓上も始まるのだろう。

ヤナギの芽吹きが美しい。葉として伸びていく芽と花になるものがあるようで、いつもは素通りしてしまうジャヤナギをしばらく観察する。

イヌシデはオバナをたくさん下げて新芽の装い。ミズキも新芽が出たところで初々しい感じ。モミジイチゴはすでに白い花を咲かせている。ニワトコも葉を出している。すでにブロッコリー様の花も出ており、白く咲いているものもあった。



モミジイチゴの花



オオイヌノフグリの青い花

地面でも新しい葉が一面にひろがっている。ミゾソバ、カキドオシ、ハコベ、ヤエムグラ、ムラサキケマン、ヨモギ、セリ、それぞれ絨毯のようだ。ケキツネノボタン、ハルジオン、ギシギシの葉もあちらこちらに。日の光をあびてオオイヌノフグリの青い花が美しい。オランダミミナグサ、タネツケバナも花の数が増えている。昨夜の雨の名残りか草の間にはキラキラ光る玉が見られ、まるでダイヤモンドをちりばめたようだ。

田んぼの中にはそれぞれ一本ずつたが、タガラシ、アゼナも顔をだしていた。いつも虫を捜すコナラの木のあたりにはツマグロオオヨコバイが盛んにとびまわっていた。ヨコヅナサシガメも木肌にへばりついていた。

ヒ、ヒ、ヒと声が聞こえ赤茶色の鳥がとまった。ジョウビタキのみだ。しばらく山側と川の方とを行き来して目を楽しませてくれた。コゲラの声、シジュウカラもやってくるが、今日はなぜかうグイスの声は聞こえない。陽気につられてどこかへお出かけしているのかな。



ツマグロオオヨコバイ



ヨコヅナサシガメ



白い毛を運ぶヤマガラ

ムクドリは集団でやってきて草の間で盛んについばんでいた。アセビの花はもうたくさん咲いている。これを食べるとほんとに酔っぱらうのかな？といつも思うが実際にくわえてみようととは思わない。

広場ではコブシ、サクラが美しい。高い梢にシジュウカラ、そしてヤマガラ。ヤマガラは下におりてきて、散歩の犬が残したもののか、白い毛をくわえてとんでいった。巣の準備をしているのだろうか。春ですね。



アセビ（馬酔木、馬が食べて酔っ払うと言われているのは葉っぱ）



春ですね

4月の湿地の観察会は、、、

4月21日（土）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）